

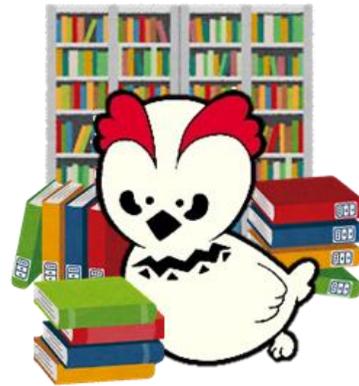


南アルプス市サードブック事業

本とともに

— きみのそばに この一冊 —

【小学校4・5・6年生にすすめる本】



司書が選んだ とっておきの本を紹介します

令和 4 年度



サードブック事業とは

南アルプス市では、家庭における読書の推進と子育てを支援するため、4か月児健康診断時に絵本を手渡す「ブックスタート事業」、小学校1年生に本を手渡す「セカンドブック事業」、さらに小学校4・5・6年生と中学生にすすめる本を紹介する「サードブック事業」を実施しています。

児童・生徒が本への親しみや興味を持ち、心豊かに成長することを願い、市立図書館司書と学校司書がすすめる本を選びました。「小学校4・5・6年生にすすめる本」のリストと「中学生にすすめる本」のリストがあり、市立図書館のホームページからも見ることが出来ます。



図書館マスコットキャラクター

ライライ

きっと、あなたの背中を押してくれる一冊があるはずです。

本との素敵な出会いがありますように。

南アルプス市立図書館ホームページ

<http://m-alps-lib.e-tosho.jp>



こちらから

【 心を自由にしたい時に 】



『 ぼくがゆびをぱちんとならして、
きみがおとなになるまえの詩集 』
著 / 齊藤倫
画 / 高野文子
出版社 / 福音館書店

時間は止まらずに過ぎていき、あっという間に大人になってしまいうけれど、言葉の世界を広げて詩に出会えば、忘れたくない気持ちや出来事をつないでおくことができる。「ぼく」と「きみ」の会話で進むこの詩集が、そんな気持ちにさせてくれました。クラブ活動の中で、子ども達と作った詩や短歌を読み返すと、今でもその場所や時間にいくことができます。「詩はむずかしい。よくわからない。」という人にこそ、読んでほしい本です。

【 友達のことを考えた時に 】



『 夏の体温 』
著 / 瀬尾まいこ
出版社 / 双葉社

どういう時に友達はできるんだろう…？と考えたことはありませんか？きっかけはたくさんあると思いますが、自分と同じ境遇の子とは仲良くなれそうな気がします。夏休みの病院で出会った同学年の男子二人。すぐに仲良しになり楽しい日々を一緒に過ごしますが別れの日がやってきます。引っ越しや進学などで離ればなれになった友達が私にもいます。たとえ近くに友達がいなくなっても思い出は自分にずっと残り続けるはずです。

【 友達秘密を知った時に 】



『 人魚の夏 』
作 / 嘉成晴香
絵 / まめふく
出版社 / あかね書房

5年生のクラスに転校生がきました。その転校生、海野夏は、男子にも女子にも見える不思議な子。実はどちらでもありません。夏の正体は人魚でした。人魚は大人になってから性別が決まるのです。その秘密は、知里だけが知っています。

私は「秘密だよ」と言われて悩んだことがあります。本当の友達なら秘密を守るのは当たり前なのか、本当の友達だからこそ、誰かに話すべきなのか。秘密について考えてみたくなる本です。

【 平和を考えたい時に 】



『 杉原千畝と命のビザ 自由への道 』
作 / ケン・モチツキ
絵 / ドム・リー
出版社 / 汐文社

かつて杉原千畝さんという人は自分の立場を顧みず大勢の人を助けました。国内にとどまり続けられ殺されてしまう人々に、国外へ出るためのビザを出し続け、何千もの人々の命を救ったのです。

「一人の人間を救うものは世界を救う」これはユダヤのことわざです。杉原千畝さんはことわざ通り、ビザを発行した人たちとその人たちの子孫まで救いました。当時10歳の私は杉原千畝さんの生き方から平和と命を尊ぶことを学びました。



【 しあわせを願うときに 】

『 いのる 』

著 / 長倉洋海
出版社 / アリス館

「おはよう」と学校で友達に挨拶して一日がはじまりです。楽しく過ごしていた当たり前の日常が、侵略や災害で全てなくなってしまったら。毎日、悲惨な状況のニュースを見ていると、私も絶望感に包まれます。私にできることは、この本の中の人たちのように平和と幸せを心から願って、いのり、思いを繋げることだけです。思いが届きますように。



【 自分の意思を貫きたいときに 】

『 ぼくたち負け組クラブ 』

作 / アンドリュー・クレメンツ
訳 / 田中奈津子
出版社 / 講談社

負け組クラブ。アレックが、大好きな読書をするために作ったクラブです。読書に没頭するために、大人数はいません。人を寄せ付けないためのクラブ名でしたが、何故か人が寄って来ます。知らぬ間にできた仲間と触れ合ううちに、アレックの心にも変化が表れます。私も歌が好きで、合唱の部活に入っていました。それがきっかけで、ミュージカルの舞台にも立てました。やり続ける事で、思ってもみない出会いがあるかもしれません。



【 おかあさんとケンカしたときに 】

『 かあちゃん取扱説明書 』

作 / いとうみく
絵 / 佐藤真紀子
出版社 / 童心社

何でももったいないと取っておいて、賞味期限切れにしてしまうかあちゃん。ん？私と同じです！かあちゃんと息子のやりとりに我が家を重ねてしまいます。かあちゃんのトリセツを作るためにかあちゃんを観察すると、自分の知らないかあちゃんの一面が見えてきます。あなたとおかあさんは、どうでしょうか？この本を読んで、おかあさんのことをもっと知ってみませんか？



【 だれかと出会いわかるるときに 】

『 星の王子さま 』

作 / サン＝テグジュペリ
訳 / 内藤濯
出版社 / 岩波書店

「かんじんなことは、目には見えないんだよ」キツネが星の王子さまとわかるる時に贈った言葉です。私は、小学校卒業と同時に辞めた習い事の先生からこの本をもらいました。でも、すぐに読みませんでした。ある時、この本を一気に読み、泣きました。先生がなぜ私にこの本をくれたのかわかった気がしたからです。それから、進学で友だちと会えなくなった時など、悲しい気持ちに寄り添ってくれる大事な本になりました。

【 戦争のニュースをきいて悲しい気持ちになった時に 】

『 戦争をやめた人たち
1914年のクリスマス休戦 』



文・絵 / 鈴木まもる
出版社 / あすなろ書房

小学生の頃、母の家が全焼になった甲府空襲の話を読みました。「戦争は恐ろしい」という記憶が残り、それ以来戦争のニュースや本が苦手でした。しかし大人になるにつれ、平和を守るには戦争を知ること大切だとわかってきました。この本は戦場の最前線で起きた本当の話。ウクライナの戦争報道を聞き、切ない気持ちになった人に読んでほしい救いの本です。「戦争を始めるのも人ですが、戦争をやめることができるのも人です。」

【 真剣に「いのち」と向き合う時に 】

『 いのちのいろえんぴつ 』



詩・絵 / 豊島加純
文 / こやま峰子
絵 / マイケル・グレイニエツ
出版社 / 教育画劇

世の中には天寿を全うする人もいれば、事故や病気で若くして天に召される人もいます。神さまは純粋で美しい心を持つ人が好きなのではないでしょうか。私の知る人も若くして天国に旅立ちました。10歳で脳腫瘍を発症し、11歳で生涯を閉じた豊島加純ちゃんも神さまに好かれた一人です。闘病中、先生にももらった色鉛筆で描いた絵と詩は、短すぎる人生を輝かせて生きた証として、私もそうだったように見る人の心に強く響くはずですよ。

【 世の中はきびしいと感じた時に 】

『 メシが食べる大人になる！
よのなかルールブック 』



監修 / 高濱正伸
絵 / 林ユミ
出版社 / 日本図書センター

小学生の頃、大人はいいな宿題もテストもないし、早く大人になりたい！と思ったことがありました。いざなってみるとすべてに責任があり、大人って案外大変なものです。きれいなことではない正直な言葉でつづられた50のルールが、みなさんを勇気づけてくれます。どんなにきびしい世の中でも、生きぬく強さを身に付けてほしいです。本に書かれたルールを一つ自分のものにしていく度に、成長していく自分を実感できると思います。

【 ひと休みしたい時に 】

『 保健室経由、かねやま本館 』



著 / 松素めぐり
装画・挿画 / おとないちあき
出版社 / 講談社

かねやま本館は悩んでいる中学生だけが行ける湯治場です。登場人物は心に効く温泉や湯治場での出会いを通して、自分自身と向き合い心も体も元気になっていきます。大人と言われる年になった私も悩んだりして心や体が疲れてしまう時があります。「疲れたときは、しっかり休息する。おいしいものを食べる。元気が出たら、またがんばる。その繰り返しで、人は生きていくのさ。」という銀山先生の言葉に深く考えさせられました。



【 初めて時代物に触れたいと思った時に 】

『 けんか餅 』

作 / 桐生環

絵 / 野間与太郎

出版社 / フレーベル館

菓子屋の奉公人・豆吉と、けんかっ早い人情には厚い若旦那が巻き起こすお江戸物語。江戸のお話と聞くと時代物はちょっと苦手…と思う人もいるかもしれませんが、全然そんなことはなく、時代物はあまり好きではない私もスラスラ読めてしまいました。友達の落語を何度か聞きに行ったときに感じた、かけあいやコミカルな面白さがある本です。また、章の終わりにある豆知識も写真付きでわかりやすく、とてもためになる一冊です。



【 大切なものを守るには？と、考える時に 】

『 チョコレート・アンダーグラウンド 』

著 / アレックス・シアラー

訳 / 金原瑞人

出版社 / 求龍堂

もしも、「本日、午後5時以降チョコレートを禁止する。」なんて法律ができたらどうしますか？この物語の舞台は、そんなとんでもない法律をつくる政党が選挙で選ばれてしまった国です。学生の時「選挙なんて私の一票で何が変わるの？」と思ったことがあります。でも、この本を読むと、私たちの行動ひとつで大切なものが守れるのかもと思えてきます。主人公の少年たちがどうやって大切なものを取り戻すかは読んでのお楽しみです。



【 働きたい仕事を探す時に 】

『 山をつくる 東京チェーンソーズの挑戦 』

文 / 菅聖子

出版社 / 小峰書店

東京というと高層ビル、東京タワーやスカイツリーなどが思い浮かぶかもしれませんが、東京都の森林面積は36パーセントもあるそうで、3分の1は森や山ということになります。そんな東京の西のしにある檜原村で林業の会社チェーンソーズを立ち上げた青木さんは、「地下足袋をはく仕事がいい」と山で働くようになりました。仕事を探すときには、小さなことでも自分がやりたいことを理由にしたいんだとお手本にしました。



【 大切なものを守りたいと思った時に 】

『 だれも知らない小さな国 』

作 / 佐藤さとる

絵 / 村上勉

出版社 / 講談社

「こぼしさま」の言い伝えがある小山は、ぼくのお気に入りの場所です。ある夏の白、小川を流れる赤い靴の中に指先ほどの大きさの人たちが手をふっているのを見たのです。幼い頃は、いつか私も小人に会える気がして楽しみでした。大人になった今でも、主人公の誠実さや行動力に勇気づけられます。昭和34年に出版されたお話ですが、いつまでも新鮮で色あせることのないすてきな物語です。



【 やさしい気持ちになりたい時に 】

『 月の砂漠をさばさばと 』

著 / 北村薫

絵 / おーなり由子

出版社 / 新潮社

作家のお母さんと小学3年生のさきちゃんの日常の会話からなるお話です。お母さんは、さきちゃんのまっすぐな気持ちにきちんと向き合って二人の時間を大切にしています。

ふとした事でゆううつな気持ちになった学生時代、家族や友だちの優しい言葉やさりげない思いやりに気持ちが和らいだことを思い出しました。毎日の生活の中に優しさはいっぱいあって、日々を大切にしよう、明日も元気に頑張ろうという気持ちをもらえる一冊です。



【 誰かのために行動したい時に 】

『 シャーロットのおくりもの 』

作 / E.B.ホワイト

絵 / ガース・ウィリアムズ

訳 / さくまゆみこ

出版社 / あすなろ書房

農場の納屋に住む子ブタのウィルバーとクモのシャーロット。ある日、ハムにされてしまうウィルバーのピンチを救うため、シャーロットは立ち上がります。賢く勇敢なシャーロットは、ウィルバーを助けようと一生懸命考えます。そして奇跡をおこします。この物語は、考えすぎて動き出せない私に、誰かが困っている時、勇気を持って行動する大切さを教えてくれました。きっとあなたの背中を押してくれる一冊になるとおもいます。



【 自分の名前が気になった時に 】

『 それぞれの名前 』

著 / 春間美幸

出版社 / 講談社

自分を見分けて名前を呼んでほしい双子の姉のチカ。クラスで金魚の名前が決まらず悩む黒田君。自分の下の名前が好きになれない千代田君。みんな「名前」で悩んでいます。自分の名前に込められた思いを知った千代田君のように、私も自分の名前の由来を知った時、心が温かくなりました。大人になった今も、「名前」は自分の心を支えてくれる、自分だけのお守りだと思っています。自分の名前が気になったらぜひ読んでみてください。

令和4年度

南アルプス市サードブックリスト

【小学校】

編集・発行者 南アルプス市学校司書
南アルプス市市立図書館司書

発行日 令和5年1月 Vol. 2

南アルプス市立図書館ホームページ
<http://m-alps-lib.e-tosho.jp>

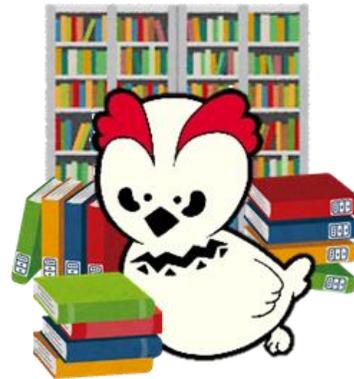


南アルプス市サードブック事業

本とともに

— あなたに寄りそう一冊 —

【中学生にすすめる本】



司書が選んだ とっておきの本を紹介します

令和 4 年度



サードブック事業とは

南アルプス市では、家庭における読書の推進と子育てを支援するため、4か月児健康診断時に絵本を手渡す「ブックスタート事業」、小学校1年生に本を手渡す「セカンドブック事業」、さらに小学校4・5・6年生と中学生に おすすめの本を紹介する「サードブック事業」を実施しています。

児童・生徒が本への親しみや興味を持ち、心豊かに成長することを願い、市立図書館司書と学校司書がおすすめの本を選びました。「小学校4・5・6年生にすすめる本」のリストと「中学生にすすめる本」のリストがあり、市立図書館のホームページからも見ることが出来ます。



図書館マスコットキャラクター

ライライ

きっと、あなたの背中を押してくれる一冊があるはずです。

本との素敵な出会いがありますように。

南アルプス市立図書館ホームページ

<http://m-alps-lib.e-tosho.jp>



こちらから



【 壮大なファンタジーの世界に浸りたい時に 】

『 香君 (上巻・下巻) 』

著 / 上橋菜穂子
出版社 / 文藝春秋

奇跡の稲の力に頼り榮える帝国で起きた未曾有の食糧危機。そんな中、数々の困難に負けず、未来を切り開いていく少女の物語です。今、世界中では様々な問題が起きています。私は今までニュースを見ても他人事に捉えてしまいがちでした。ですがこの本に出会い、人は常に様々なものと影響し合い、支え合って生きているのだということを改めて気づかされました。私達を取り巻いている多くの命の意味を考えることができる一冊です。



【 中学校生活が少し不安だなと思った時に 】

『 なりたて中学生 初級編 』

著 / ひこ・田中
出版社 / 講談社

この本を初めて読んだ時、小学校との違いに戸惑ってばかりいた自分の中学時代を思い出しました。中学生になりたてのテツオが感じる戸惑いに、クスリと笑ってしまい、そして懐かしさを感じました。中学生になる不安、中学校生活って大変だなと思った時にぜひ読んでみて欲しいです。文句を言いつつも、なんとか新しい環境に慣れようとポジティブに向き合おうとするテツオの姿に、頑張ってみようかなと思えるかもしれません。



【 しあわせを感じたい時に 】

『 ディズニー
ありがとうの神様が教えてくれたこと 』

著 / 鎌田洋
出版社 / SBクリエイティブ

「ありがとう」と言われるととても幸せな気持ちになります。私は「ありがとう」が大好きです。たくさんの人に届けたい言葉だと思います。

日本でいちばん「ありがとう」が生まれる場所、ディズニーリゾートであった出来事を語ったお話です。困難にぶつかりながらも相手を思いやり、たくさんの「ありがとう」があふれています。きっと誰かに「ありがとう」を伝えたい、そんなあたたかい一冊です。



【 青春を謳歌したい時に 】

『 図書室のはこぶね 』

著 / 名取佐和子
出版社 / 実業之日本社

10年ぶりに返却されたケストナーの『飛ぶ教室』の謎を軸に物語が進みます。ケガで体育祭に出られなくなった百瀬と図書委員の朔太郎が、悩みに向き合いながらかけがえのない時間を過ごしていきます。

私は高校時代に学園祭実行委員だったことを思い出しながら、夢中でページをめくりました。この本では『飛ぶ教室』以外にも素敵な本が紹介されているので、それらもあわせて読んで欲しいです。

【 頭がぐるぐるしそうな時に 】



『 多分そいつ、
今ごろパフェとか食ってるよ。 』

マンガ・文 / Jam
監修 / 名越康文
出版社 / サンクチュアリ出版

自分の悪口を言われているんじゃないか、苦手な人がいる、嫌な目にあって忘れられないなどの嫌な気持ちで頭の中がぐるぐるしてしまうことはありませんか？私はこの本を読んだ時、嫌なことを全部受け取らなくてもいいんだ！と気持ちが楽になりました。4コマ漫画付きでとても読みやすいです。社会に出てからのことも載っているので、将来の自分にも役立つはずですよ。



【 前向きな気持ちになりたい時に 】

『 困ってるひと 』

著 / 大野更紗
出版社 / ポプラ社

ある日突然、原因不明の難病を発症してしまった著者の大野さん。治療してくれる医師を探し、福祉制度を利用するための書類集めに奮闘し、ついには退院して一人暮らしまで始めてしまいます。そんな彼女の姿に、ちょっとしたケガや病気でもすぐに弱気になり、人を頼ってしまう自分が恥ずかしくなりました。辛い検査や次々に現れる不調、病院での人間関係などを明るくユーモラスに描いた、生きる力を与えてくれる闘病記です。



【 孤独を感じた時に 】

『 ひと 』

著 / 小野寺史宜
出版社 / 祥伝社

家族との別れにより、ひとりぼっちになってしまった主人公。総菜屋で、コロッケを見知らぬおばあさんに譲ったことから不思議な縁が生まれます。孤独を感じながらも、懸命に前向きに生きる主人公の姿に胸を打たれました。人は一人では生きていけません。たくさんの人に支えられ、守られて生きてきたのだと改めて感じることができました。家族や友人、自分に関わってくれている全ての人に感謝したくなる一冊です。



【 一歩踏み出す自信が欲しい時に 】

『 はぐれくん、おおきなマルにであう 』
作 / シェル・シルヴァスタイン

訳 / 村上春樹
出版社 / あすなろ書房

自分と一緒に転がってくれる誰かをひたすら待っている、とがったかけらのはぐれくん。ある日、欠けたところのないおおきなマルと出会うことで、はぐれくんに変化が現れます。私は新しいことに挑戦する前に、この本を開いています。線のみで描かれたシンプルな絵本から伝わる、変化を恐れず自分自身の足で進むんだというメッセージが、読む度に背中を押してくれました。人生の転機に思い出してもらえる作品になれば嬉しいです。



【 家族とうまくいかないときに 】

『 ラヴ・ユー・フォーエバー 』
作 / ロバート・マンチ
訳 / 乃木りか
絵 / 梅田俊作
出版社 / 岩崎書店

この本を初めて読んだとき、世代を超えて続いていく親子の深い愛情に圧倒され、気づけば涙していました。自分がどれだけ大きな愛を注いでもらっているのか思い出させてくれました。思春期は家族との向き合い方が変わっていく時期です。理由もなく親の言うことに苛立ったり、八つ当たりをしてしまったりするかもしれません。自分の気持ちがあまくコントロールできなくて悩んでいるとき、この本に触れてみて欲しいです。



【 周りの人との違いに悩んだときに 】

『 窓ぎわのトットちゃん 』
著 / 黒柳徹子
出版社 / 講談社

自由奔放すぎて小学校を1年生で退学になってしまったトットちゃん。転校先のトモエ学園は個性を伸ばす教育で、校長先生は「君は、本当は、いい子なんだよ」とありのままの自分を受け入れてくれます。人との違いに悩んだ中学時代、こんな先生に出会えたら、もっと自分に自信を持つことができたかもと感じた事を思い出します。自分にコンプレックスを感じた時に読んでみませんか？人にとって大切なことを教えてくれる一冊です。



【 自分の世界を広げたいと思ったときに 】

『 種をまく人 』
著 / ポール・フライシュマン
訳 / 片岡しのぶ
出版社 / あすなる書房

中学校の司書になった時に一番最初に読んだ思い出の一冊です。短いお話のなかで異文化をシャワーのように浴び圧倒されると同時に、自分の視野がいかに狭かったかを知ることができました。アメリカの貧しい町のゴミだらけの空き地に女の子が願いをこめてまいた種からはじまって、国も年齢も性別も違う人々が少しずつつながっていく物語は、じんわりと心に残っています。自分の世界を広げたいと思った時にぜひ手に取ってください。



【 何かをやり遂げたいと思ったときに 】

『 夜のピクニック 』
著 / 恩田陸
出版社 / 新潮社

夜通しで80kmの道のりを歩く歩行祭を題材にした青春物語です。学生時代は、友だち、恋愛、勉強、将来など悩みが尽きない年齢だと思います。私も学生の頃はたくさん悩みがありました。でもそれを乗り越えた時、大きく成長することができたと思います。物語ではそれぞれの思いを胸に行事に参加する高校生の姿が描かれています。読後は清涼感を感じることができます。ぜひ読んでみてください。



【 いい人ひとでいることにつか疲れたときに 】

『 いい人ひとランキング 』

著 / 吉野万理子
出版社 / あすなろ書房

もしクラスで「いい人ひとランキング」が開催かいさいされたら、一番いちばんになりたいと思いますか？私は子どもこどものころころ周りの人ひとからいい人ひとに思おもわれたくて、少し無理むりをしていたきがします。無理むりせず根ねっからのいい人ひとである主人公しゅじんこう・桃ももは、「いい人ひとランキング」で一番いちばんになります。それによって自分おのれを取り巻く環境かんきょうが変化へんかしてしまい、戸惑とまどいます。いい人ひとでいることは大切たいせつだけどそれだけでは生きづらいきづらい、そんな気持ちきもちの人にぜひ読よんで欲しいです。



【 名作めいさくを讀みたくよくなったときに 】

『 老人ろうじんと海うみ 』

著 / ヘミングウェイ
訳 / 福田恆存
出版社 / 新潮社

中学3年生ちゅうがく ねんせいの夏休なつやすみに読よんだ本ほんです。高校こうこうの受験じゅけん勉強べんきょうがうまく進すすまず、何をしても気持ちきもちが沈しずんで悩なやんでいた時ときに薦すすめられました。不可能ふかのうだと思おもっても自分おのれを信じしんじ目標もくひょうに向かって突つき進すすむ主人公しゅじんこうの姿すがたに共感きょうかんしました。この本ほんは長ながく語かたり継つがれている名作めいさくですが、これからも多くおほくの人に共感きょうかんされる本ほんだと思おもいます。名作めいさくを讀よんでみたいと思おもった時ときに何を讀よんだらいいか迷まよったらぜひこの本ほんをお薦すすめします。自分おのれと向き合むかえる名作めいさくの一冊いっさつだと思おもいます。



【 落ち込おちこんだ時ときに 】

『 置おかれた場所ばしょで咲さきなさい 』

著 / 渡辺和子
出版社 / 幻冬舎

私は「ことば」を集あつめるのが好すきです。関係かんけいする本ほんを讀よんだり、新聞しんぶんを切り抜きりぬいたり、良いなと思おもった言葉ことばをノートに書かき留とどめたりしています。そして、落ち込おちこんだり、パワーが欲ほしい時ときには、そのノートノートを讀よみ返かえして元氣げんきを充じゆう電でんしています。その「ことば」の中なかでも、いつも手てに取とって讀よみたくなるのが、この本ほんです。何もかも後うしろ向むかひにしか考かんがえられなくななってしまった時とき、前まえに進すすむための力ちからが欲ほしい時ときにぜひ讀よんでみてください。



【 うまじいかにない自分じぶんに悩なやんだ時ときに 】

『 思し春しゅん期き 』

著 / 小手鞠こてまりるい
出版社 / 講談社

虫むしの居い所どころが悪わるくて、それを他ほかの誰だれかのせいせいにしたい。ままならない自分じぶんの感情かんじょうに無む性に腹はらが立たって、なりふり構かまってられない時とき期きが私わたしにもありました。この本ほんでは、そんな思春期ししゅんきの繊細せんさいで気難きずしい感情かんじょうが体験たいけん記きのように物語ものがたりに組くみ込こまれています。長いトンネルトンネルに入はいって抜ぬけ出でせないような気持ちきもちになってしまった時ときにぜひ讀よんでみてください。大人おとなへと変かわっていく自分じぶんに悩なやんだ時とき、きつと背せ中なかを押おしてくれるはずです。



【 「どうあるべきか」と悩んだ時に 】

『 君たちはどう生きるか 』

著 / 吉野源三郎

出版社 / ポプラ社

中学1年生の純一君は、大学を出てまもないおじさんがよ
き相談相手でした。世間の様々な問題や友人関係に直面し
「自分はどうあるべきか」を悩む主人公。私自身学生の時、
人間関係に悩み誰にも相談もできずに関係を悪くさせてし
まったことがありました。この本は主人公へ語りかける形で
「自分の頭で考え悩む人」を励まし導いてくれています。そ
れが解決のすべてではありませんが、何かの道しるべとなっ
てくれることと思います。



図書館マスコットキャラクター
ライライ

【 幼い頃が懐かしくなった時に 】



『 クマのプーさんとぼく 』

著 / A・A・ミルン

絵 / E・H・シェパード

訳 / 小田島雄志 小田島若子

出版社 / 河出書房新社

“プーさん”の作者であるミルンが子どもの目線で綴った
詩集です。何だかうまくいかない時、この詩集を読んで、幼
かった自分を思い出すと少しだけココロが晴れ、悩んでいた
ことが頭の中で小さくなった気がしました。あの頃が懐かし
い…と思ったときに読んでみるのもいいかもしれません。た
くさん綴られている詩のなかからお気に入りが見つかるはず
です。

令和4年度

南アルプス市サードブックリスト
【中学校】

編集・発行者 南アルプス市学校司書
南アルプス市市立図書館司書

発行日 令和5年1月 Vol. 2

南アルプス市立図書館ホームページ
<http://m-alps-lib.e-tosho.jp>